

私は昆虫はあまり好きではないですが、一度は会ってみたい虫は何種類かいます。ゴライアストリバネアゲハ、スカシジャノメ（翅は透明なジャノメチョウ）、ミドリシジミなどです。子どもの頃は、夏になるとカブトムシ捕りに夢中になっていましたが、昆虫図鑑に載っていた「タマムシ」に憧れていました。

小学校3年生の時に、長瀬（埼玉県）の川原の木に緑色の虫が1匹とまっていました。それがタマムシとの初対面でした。何かつかまえてはいけないような神々しさを持っていましたが、持ち帰って何日も眺めていた記憶があります。

1学期の終わり頃、3年生の男の子がタマムシを捕まえたと言って学校に持ってきてくれました。生きたタマムシを見るのは久しぶりでしたが、やはり美しい…というよりも神々しさを感じました。こんなに美しく目立つと、自然界では不利なような気もしますが、なぜなのでしょうね？（2023年7月中旬／附属小学校）

